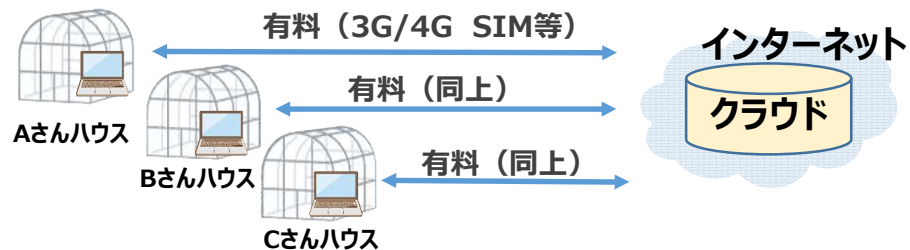


「IoP NW」および普及パッケージのモデル化実証の取組み

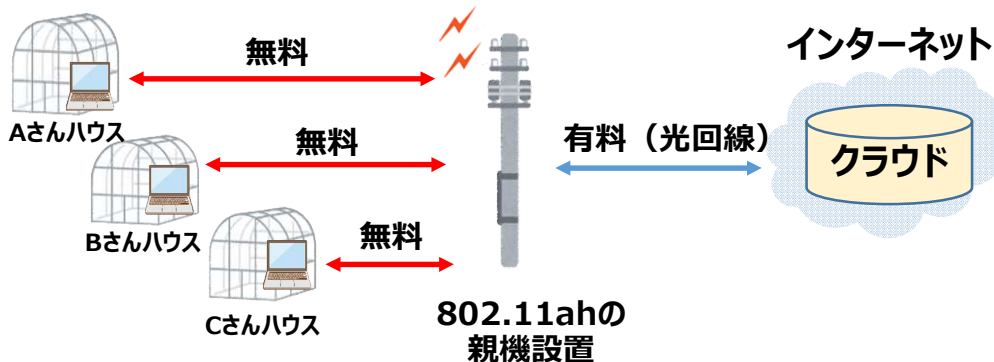
(高知電子計算センター、高知システムズ、ぷらっとホーム、NTTアグリテクノロジー)

Before



現状 (端末ごとに通信の契約が必要な状態)

After



802.11ahがあれば端末ごとの通信契約が不要

802.11ahを活用した 新たなユースケースの創出 (一例)

河川・ため池の水位監視



802.11ah対応カメラを用いた防災の取組

重油残量の遠隔モニタリング



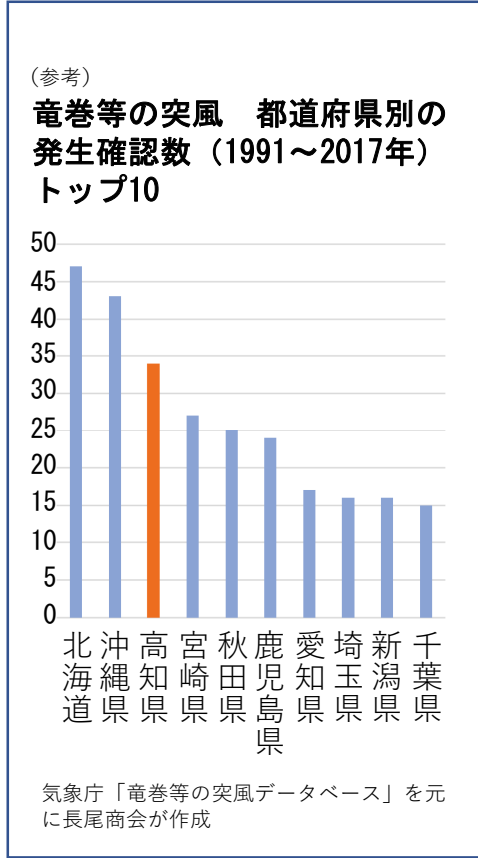
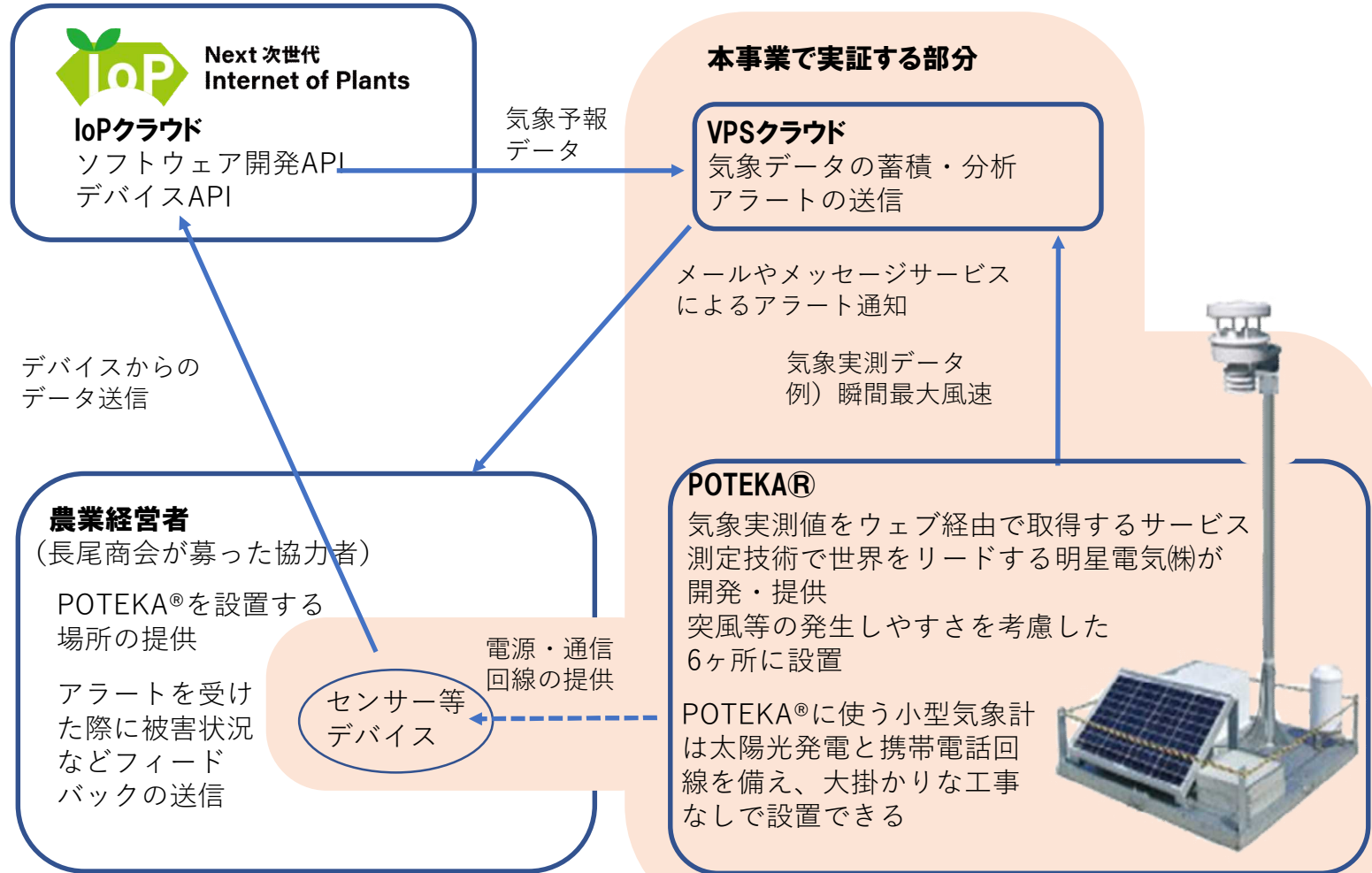
生産者の熱中症対策



■ 気象情報サービスを用いたIoPクラウド アラート機能の充実およびスマート農業導入支援

(株式会社長尾商会)

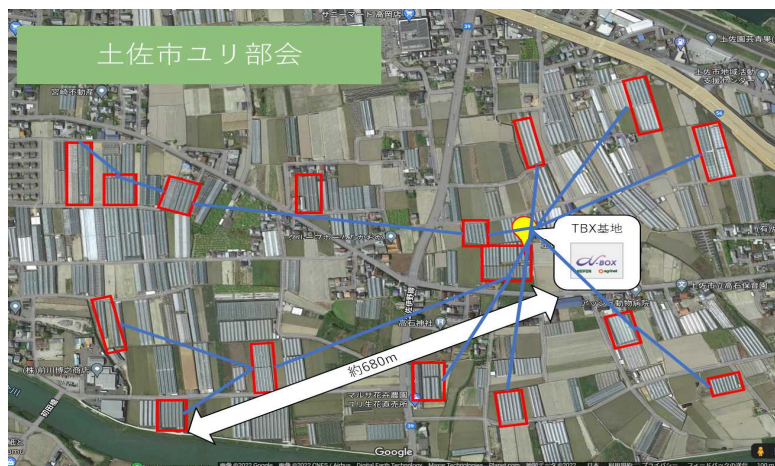
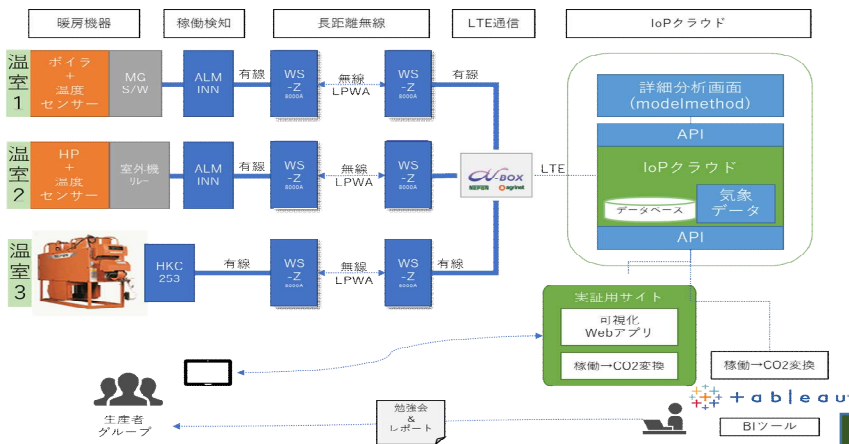
高知県は高度に設備投資の進んだ「園芸王国」でありながら、豪雨や突風など高い気象災害リスクを抱えています。本事業では気象情報サービスPOTEKA®を用いてIoPクラウドの気象アラート機能を充実させ、経営資産である圃場の保全をサポートします。また気象計から電源・通信回線を供給することでスマート農業の導入支援も行います。



■ 地域全員がつながるデータ収集網の構築とカーボンニュートラルへの取り組み

(ネポン株式会社)

LPWA無線通信網の実装で地域みんなが SAWCHIにつながる



- 地域で1台、親機となる高機能通信器を設置し、その他多数の温室には通信・子機・中継器機能を有したLPWA通信器を設置し安価で手軽な通信環境を構築する。

温度データと機器稼働データを収集して エネルギーマネジメントとCO2排出改善



- 導入している暖房機が暖房負荷に合わせた能力で稼働しているかを検証することで、投入した燃料に対する熱エネルギーが効率よく発揮できてるかの見える化環境を構築。



- センサーデータや機器稼働データを収集し実態の把握と比較・効率的な暖房への改善を地域単位で実施できる環境を構築する。



- 温度ムラの検証レポートを作成し、暖房エネルギーの無駄をを明確化する事で、暖房効率の改善につながりCO2排出量の削減にもなる。